



チーム医療推進のための研修（緩和ケア）実施要領

（申込フォーム利用受講者向け）

1. 研修目的

がんを含む治癒困難な疾患に対する診療で求められる緩和医療に関する知識及び各職種間の連携の必要性を理解するとともに、倫理的な問題を自分ごとと捉え、緩和医療の均てん化の推進及び医療の質の向上を図ることを目的とする。

2. 対象者

がん・神経難病を含むあらゆる病態に対しての緩和医療に興味がある者。

※職種は問わない

3. 募集人数

10名程度（申込多数の場合は先着順）

※その他、東海北陸グループ管内病院職員も合同で受講します。

4. 開催日

令和 8 年 11 月 27 日（金）

5. 開催場所

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター

外来管理診療棟 5 階 特別会議室

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸四丁目 1 番 1 号

（名古屋市営地下鉄名城線「名古屋城駅」1 番出口下車、徒歩 1 分）

※研修生用の駐車場の準備はありませんので、公共交通機関でお越しください。

6. 研修内容

別紙「進行表」の通り

※本研修は国立病院機構東海北陸グループ管内病院職員も合同で受講するため、講義内容等に国立病院機構職員向けの内容が含まれる場合があります。

7. 受講料

10,000 円（税込）

振込先や振込期日等は、受講決定通知と併せてご案内します。

8. 申込期日

令和 8 年 10 月 5 日（月）まで

9. 申込方法

下記 URL または QR コードより申込フォームにアクセスしお申込みください。

＜研修申込フォーム＞

<https://forms.gle/hTGmCmuCwQfgcpfq8>



10. 受講決定について

後日、申込フォームにご登録いただいたメールアドレス宛に受講決定通知を送付いたします。なお、申込状況により受講いただけない場合についても、別途ご連絡いたします。

10月末日を過ぎても受講可否に関する連絡がない場合は、メールの不達等が考えられますので、お手数ですが「12. 問い合わせ先」までお問合せください。

11. 終了後アンケートについて

研修終了後、研修に係るアンケート（Web）にご協力ください。

回答期間：研修終了後～令和8年12月4日（金）まで

12. 問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構 東海北陸グループ

医療担当 研修事務局

電話：052-968-5172

メールアドレス：713-iryo@mail.hosp.go.jp

**令和8年度 独立行政法人国立病院機構 東海北陸グループ
チーム医療推進のための研修（緩和ケア） 進行表**

11月27日（金曜日）				
	時間	事 項 （ テ ー マ ）	内 容	形 式
8:30 ～ 9:00	30	受 付	受付	
9:00 ～ 9:10	10	開 会、研修の進め方	研修主催者挨拶 講師紹介など	
9:10 ～ 9:40	30	『医療はなぜチームで行うのか？』 名古屋医療センター がん総合診療部長 北川 智余恵	チーム医療論	講義
9:40 ～ 9:45	5	休 憩		
9:45 ～ 11:20	95	『コミュニケーション・スキル・トレーニング』 東海北陸グループ 薬事専門職 林 誠 名古屋医療センター 緩和ケア内科医師 西堀 理香	制限下でのコミュニケーション体験	グループワーク
11:20 ～ 11:30	10	休 憩		
11:30 ～ 12:00	30	『チームで使えるオピオイドの基本的な知識』 名古屋医療センター 調剤主任 早川 裕二		講義
12:00 ～ 13:00	60	昼 食		
13:00 ～ 13:15	15	『緩和ケア期におけるリハビリテーション』 名古屋医療センター 作業療法士長 春名 令子		体操
13:15 ～ 13:45	30	『ACPとは』 名古屋医療センター 副看護師長 能澤 紅音		講義
13:45 ～ 13:50	5	休 憩		
13:50 ～ 14:50	60	『対話の重要性について』 愛知県がんセンター 緩和ケア部部长 下山 理史		講義 グループワーク
14:50 ～ 15:00	10	休 憩		
15:00 ～ 17:00	120	『終末期患者へのかかわり 死が近づいたときにチームで解決するために』 三重中央医療センター 副院長 安達 勝利 名古屋医療センター 副看護師長 松野 英美 名古屋医療センター 副看護師長 能澤 紅音	事例検討	グループワーク
17:00 ～ 17:15	15	総 評、閉 会	研修主催者挨拶	
17:15 ～		解 散		

※研修進行表については、変更することがございます。